
2013年度決算及び
2014年度業績見通し
説明資料



星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2014年2月25日



目次

◇ I. 事業内容、当期の事業環境	P2～4
◇ II. 2013年度 決算	P5～8
◇ III. 2014年度 業績見通し	P9～10
◇ IV. 事業別動向	P11～12
◇ V. 経営戦略	P13～21

<予想に関する注意事項>

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



➤ 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品



紙 新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙
紙器用紙 他



➤ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂

新聞インキ
オフセットインキ
フレキシインキ
グラビアインキ

記録材料用樹脂



トナー

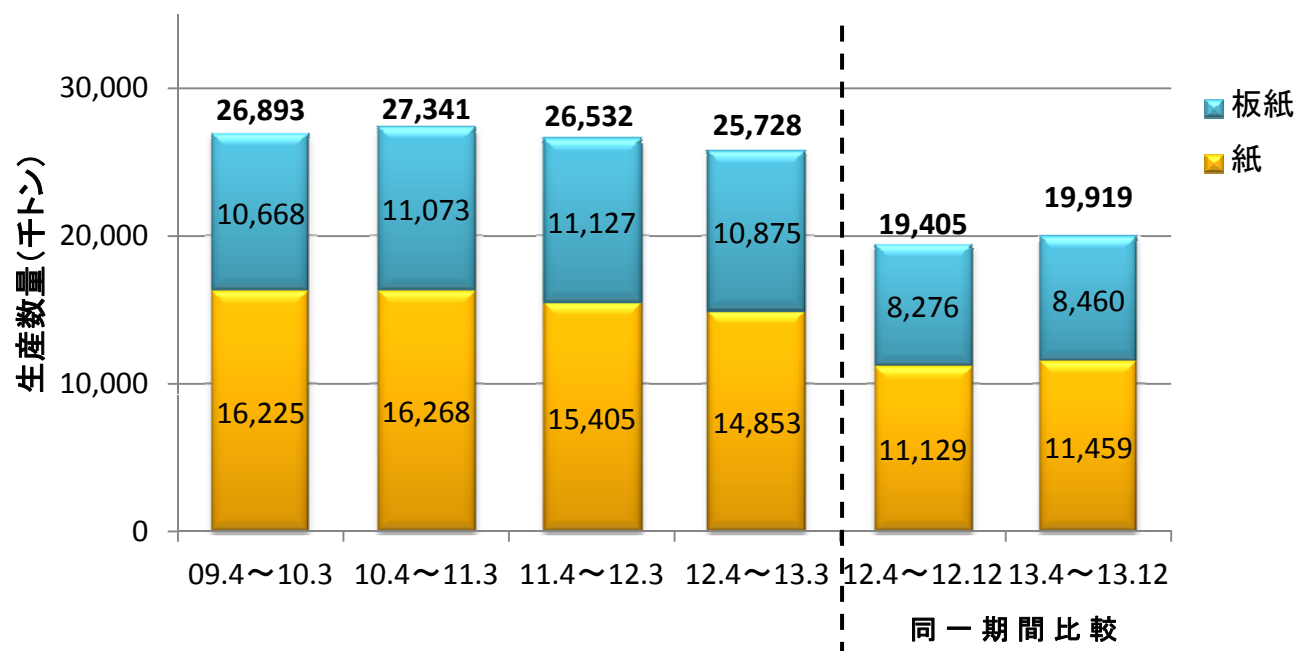


I. 事業内容、当期の事業環境



➤ 2013年度(4-12月)の国内紙・板紙生産量は前年同一期間比+2.7%の増加

▽紙・板紙生産数量(国内)

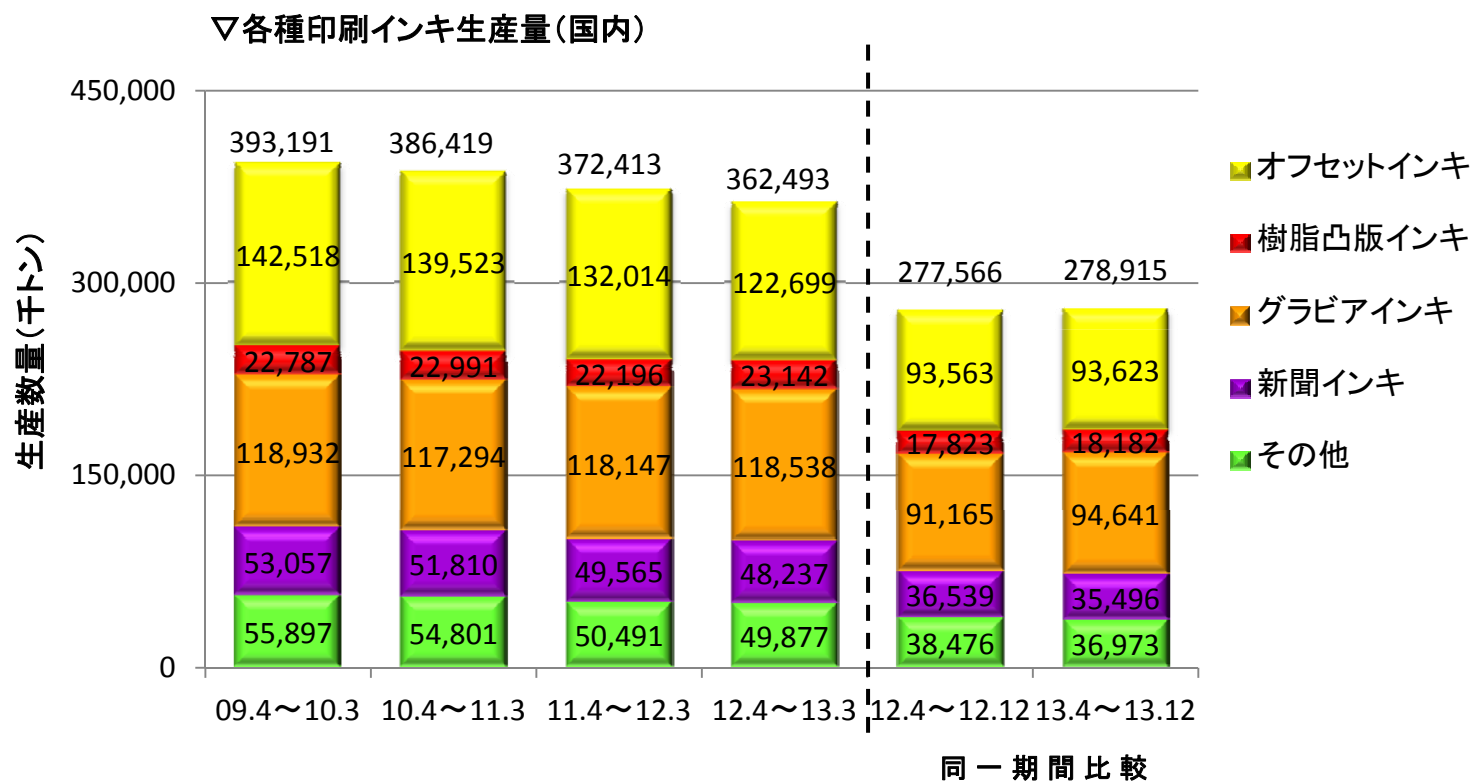


(出典:経済産業省生産動態統計)

I. 事業内容、当期の事業環境



➤ 2013年度(4-12月)の国内印刷インキ生産量は前年同一期間比+0.5%と微増



(出典: 経済産業省生産動態統計)

Ⅱ. 2013年度 決算

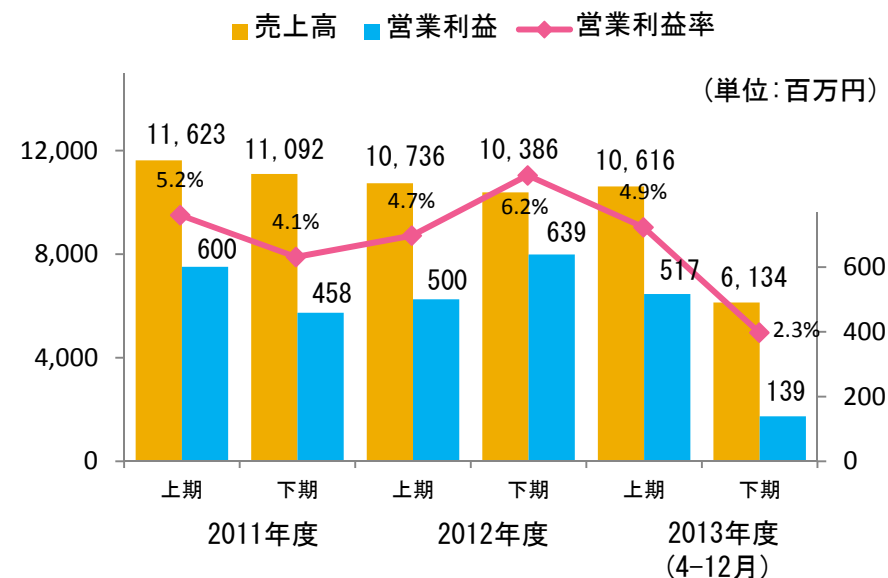


(1) 決算の概況(連結)

(百万円)	前期	今期		前年同期比	
	実績 (4-12月)	直近 予想	実績 (4-12月)	増減	増減率
売上高	16,370	16,870	16,750	+380	2.3%
営業利益	873	750	656	-217	-24.9%
営業利益率	5.3%	4.4%	3.9%	-	-
経常利益	855	960	923	+68	+8.0%
経常利益率	5.2%	5.7%	5.5%	-	-
当期純利益	498	590	627	+129	+25.9%
減価償却費	656	600	654	-2	-0.3%
設備投資	334	700	643	+309	+92.5%
研究開発費 (対売上高比率)	1,155 (7.1%)	1,200 (7.1%)	1,197 (7.1%)	+42	+3.6%

注: 決算期変更に伴い9か月の変則決算となっております。

国内での販売数量ベースでの売上減に加え、ロジンを始めとする原材料価格の高騰により営業利益は前年比24.9%減となった。



Ⅱ. 2013年度 決算

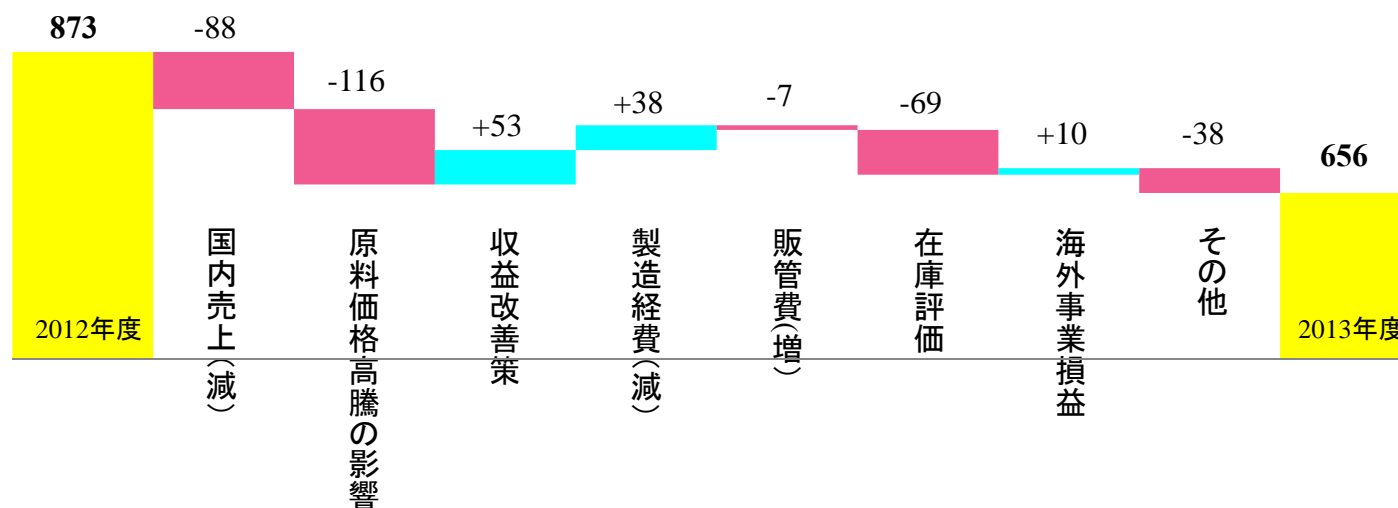


(2) 営業利益増減内訳

・ 2012年度→2013年度

※2013年度は9ヵ月の変則決算となっているため、前年同一期間との比較を行っております。

873 → 656百万円 (-217百万円 -24.9%)



製品の販売構成のシフトによる収益改善(+53M¥)、製造経費の削減(+38M¥)を行ったものの、国内販売数量の減少(-88M¥)、原料価格高騰(-116M¥)によるマイナス要因をカバーできずに、営業利益は656百万円と前年比-217百万円の減少。

Ⅱ. 2013年度 決算



(1) 連結貸借対照表

(百万円) 科 目	2012年度 末	2013年度 末	前年 同期比
現金・預金	532	449	-83
受取手形・売掛金	9,161	10,012	+851
たな卸資産	3,251	3,079	-172
短期貸付金	3,851	3,872	+21
その他の流動資産	266	413	+147
流動資産 合計	17,061	17,825	+764
有形固定資産	8,579	8,741	+162
無形固定資産	100	71	-29
投資その他の資産	950	1,258	+308
固定資産 合計	9,629	10,070	+441
資産合計	26,690	27,895	+1,205

科 目	2012年度 末	2013年度 末	前年 同期比
支払手形・買掛金	3,608	4,096	+488
短期借入金	1,100	1,100	±0
その他流動負債	1,749	1,747	-2
流動負債 合計	6,457	6,943	+486
退職給付引当金	206	-	-206
退職給付に係る負債	-	651	+651
その他の固定負債	167	168	+1
固定負債合計	373	819	+446
負債合計	6,830	7,762	+932
株主資本:			
資本金	2,000	2,000	±0
資本剰余金	1,566	1,566	±0
利益剰余金	16,312	16,576	+264
自己株式	-104	-104	±0
その他包括利益累計額:			
為替換算調整勘定	-44	172	+216
その他	130	-77	-207
純資産合計	19,860	20,133	+273
負債及び純資産合計	26,690	27,895	+1,205

Ⅱ. 2013年度 決算



(2) 連結損益計算書及び、連結キャッシュフロー

(百万円) 科 目	2012年度	2013年度	前年 同期比
売上高	21,122	16,750	-4,372
売上原価	16,241	13,092	-3,149
売上総利益	4,881	3,658	-1,223
販売管理費	3,742	3,002	-740
営業利益	1,139	656	-483
金融支出	20	31	+11
為替差益	4	191	+187
その他	52	45	-7
経常利益	1,215	923	-292
特別利益	4	0	-4
特別損失	6	55	+49
税金等調整前 四半期純利益	1,213	868	-345
法人税等	486	241	-245
四半期純利益	727	627	-100

		2012年度	2013年度
営業活動による キャッシュ・ フロー	税金等調整前当期純利益	1,213	868
	減価償却費	855	654
	法人税等の支払額	-412	-355
	運転資本の増減額	459	-359
	その他	113	133
	計	2,228	941
投資活動による キャッシュ・ フロー	有形固定資産の取得による支出	-478	-661
	無形固定資産の取得による支出	-11	-1
	有形・無形固定資産の売却による収入	4	1
	投資有価証券の取得による支出	-33	-4
	その他	-1,230	-43
	計	-1,748	-708
財務活動による キャッシュ・ フロー	配当金の支払額	-409	-363
	その他	-1	-1
	計	-410	-364
現金および現金等価物に関わる換算差額		34	48
現金および現金等価物の増減額		104	-83
現金および現金等価物の期首残高		427	531
現金および現金等価物の期末残高		531	448

Ⅲ. 2014年度 業績見通し

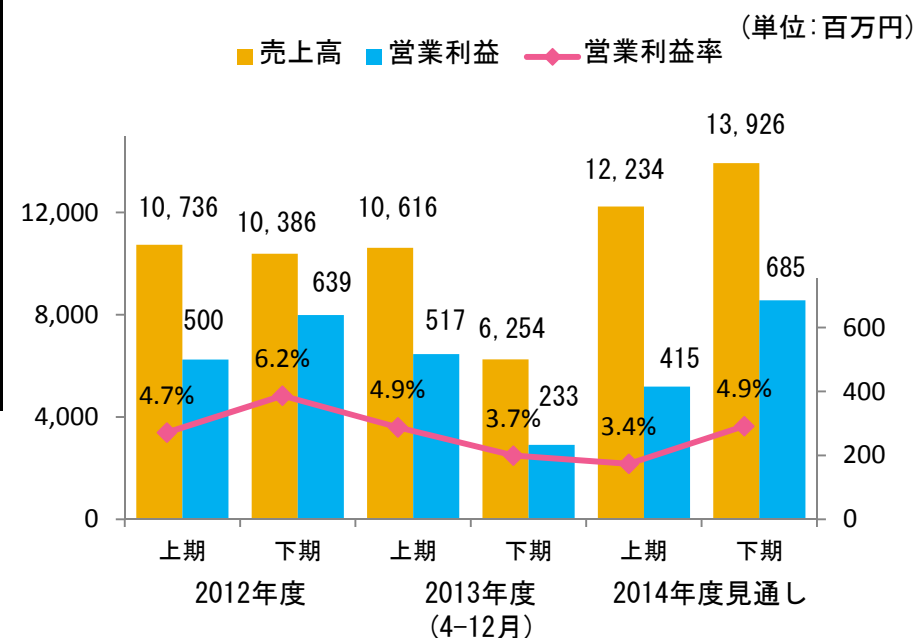


(1) 決算の概況(連結)

(百万円)	2013年	2014年度	前年同期比	
	1-12月	見通し	増減	増減率
売上高	21,502	26,160	+4,658	+21.7%
営業利益	923	1,100	+177	+19.2%
営業利益率	4.3%	4.2%	-	-
経常利益	1,283	1,180	-103	-8.0%
経常利益率	6.0%	4.5%	-	-
当期純利益	856	730	-126	-14.7%
減価償却費	785	769	-16	-2.0%
設備投資	777	1,028	+251	+32.3%
研究開発費 (対売上高比率)	1,572 (7.3%)	1,621 (6.2%)	+49	+3.1%

注：2013年度は決算期変更に伴い9ヵ月の変則決算であったため、前年同一期間（2013年1～12月）との比較を行っております。

ロジン、石油化学品の高騰により原材料コストのアップが見込まれる中、差別化商品の拡販、事業領域の拡大により、前年同期（2013年1-12月）比21.7%の売上増、19.2%の営業利益増を見込む。



Ⅲ. 2014年度 業績見通し

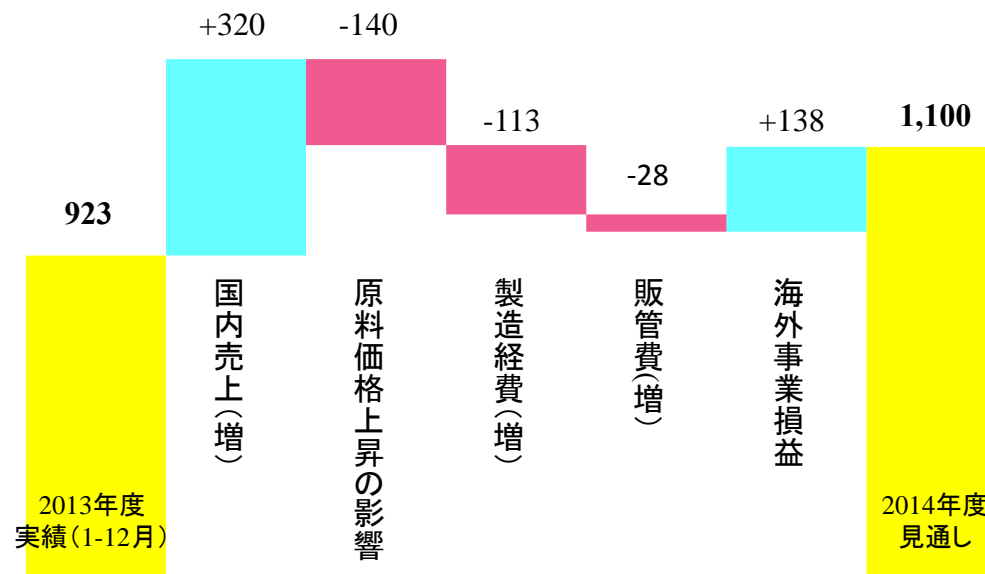


(2) 営業利益増減内訳

・ 2013年度実績(※) → 2014年度見通し

※前年同一期間との比較のため、2013年1～12月実績となっております。

923 → 1,100百万円 (+177百万円 +19.2%)



原材料価格高騰(-140百万円)によるマイナス要因を、差別化製品投入や事業領域の拡大による売上増(+320百万円)、海外事業の収益改善(+138百万円)により営業利益は1,100百万円と、前年比177百万円の増益を目指す。

IV. 事業別動向（製紙用薬品事業）



(百万円)		2012年 (4-12月)	2013年度 (4-12月)	増減	増減率
売上高	国内	10,495	10,496	+1	0.0%
	海外	1,342	1,643	+301	22.4%
	調整	-115	-142	-27	-
	合計	11,722	11,997	+275	2.3%
営業利益	国内	769	612	-157	-20.4%
	海外	-88	-78	+10	-
	調整	-7	-13	-6	-
	合計	674	521	-153	-22.7%

	2013年 (1-12月)	2014年度 見通し	増減	増減率
売上高	13,764	14,913	+1,149	8.3%
営業利益	1,643	2,524	+881	53.6%
調整	-142	-177	-35	-
合計	15,265	17,260	+1,995	13.1%
営業利益	811	839	+28	3.4%
調整	-78	60	+138	[黒字化]
合計	-13	68	+81	-
営業利益率	720	967	+247	34.3%

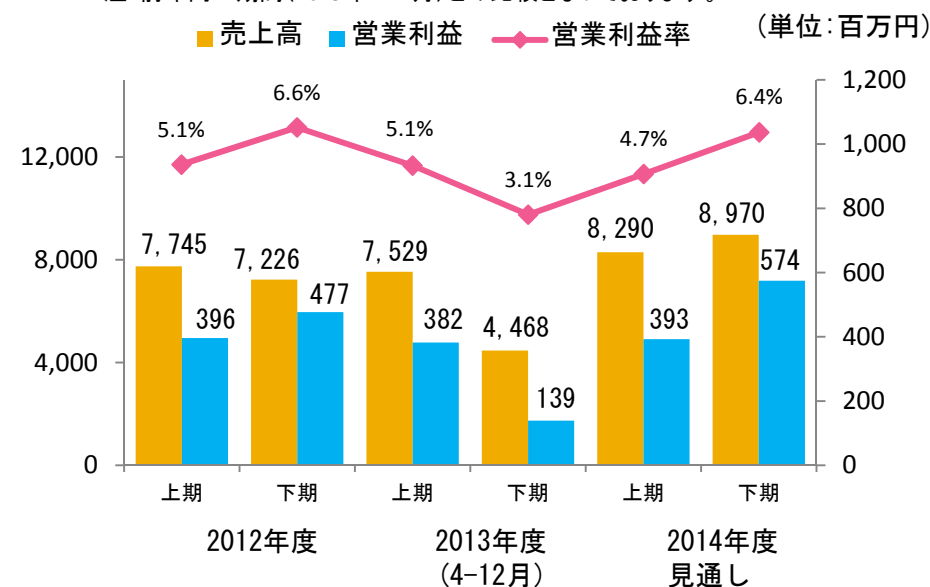
注：前年同一期間（2013年1-12月）との比較となっております。

2013年度ハイライト

- ◆売上高：ユーザーの設備統廃合の影響で国内は数量ベースで売上減、海外は為替の影響で売上大幅増。
- ◆営業利益：原料価格高騰の影響を受け、前年比22.7%の減益。

2014年度見通し

- ◆売上高：国内における紙・板紙需要が伸び悩む中、ソリューションの提供を通じた差別化と、海外においても現地市場のニーズに適合した製品を投入することで、前年比13.1%の増収を目指す。
- ◆営業利益：原料価格高騰の影響を受けつつも、拡販及び海外事業の収益改善効果により前年比34.3%の増益を目指す。



IV. 事業別動向（樹脂事業）



(百万円)	2012年 (4-12月)	2013年度 (4-12月)	増減	増減率
売上高	4,648	4,753	+105	+2.3%
営業利益	199	135	-64	-32.2%

2013年 (1-12月)	2014年度 見通し	増減	増減率
6,237	8,900	+2,663	+42.7%
202	133	-70	-34.5%

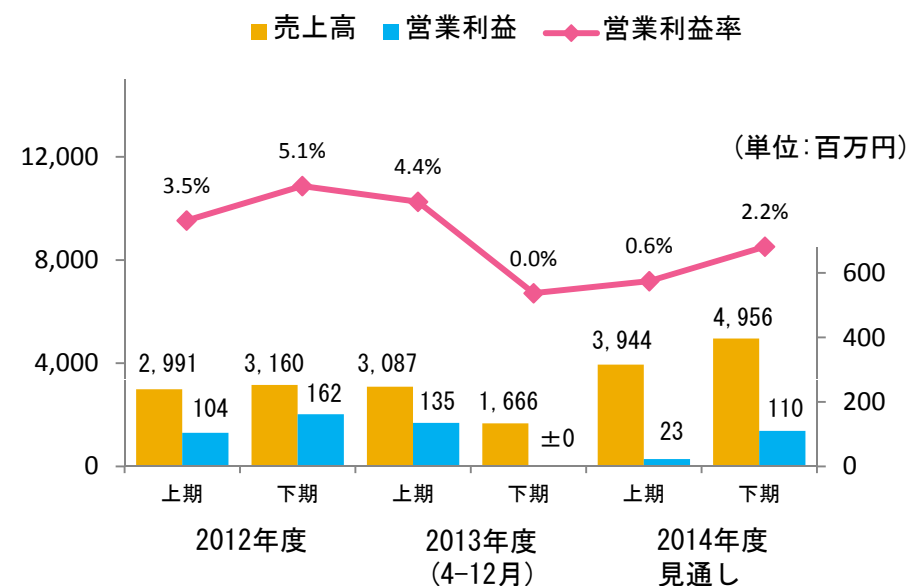
注：前年同一期間(2013年1-12月)との比較となっております。
2014年度見通しには、興人グループ化成品事業の買収効果を含めております。

2013年度ハイライト

- ◆売上高：欧州を中心とした事務機器需要減退に伴い記録材料用樹脂の販売は減少したものの、オフセットインキ用樹脂、水性インク用樹脂が堅調に推移し前年比2.3%の増収。
- ◆営業利益：原料価格高騰の影響を受け前年比32.2%の減益。

2014年度見通し

- ◆売上高：新規分野への高付加価値製品の投入に加え、M&Aの結果前年比42.7%の増収を目指す。
- ◆営業利益：原料価格の高騰により前年比34.5%の減益の見通し。





- 経営目標：設立50周年にあたる2018年度に
連結売上高350億円、営業利益率10%の達成
 - 地域・分野双方での事業領域の拡大と、柔軟で筋肉質な企業体質への変化を志向

- 「CS VISION – I」(～2015年度)は、上記の目標達成へ向けた第1ステージの位置づけ
 - 「CS VISION」:お客様への
Chemical Solutionの提供により、
Customer Satisfactionを実現し、お客様と社会への貢献を通じて
Corporate Sustainability を確固たるものにしていく、という思い

- 「住みよい社会、豊かな未来の創造に貢献する」という当社の経営理念



～ 会社も生き活き、社会も生き活き ～

※当社は、海外連結子会社との決算期の統一を図るべく、2013年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。
この変更及び近時の事業動向を踏まえて「CS VISION- I」の最終年度を2015年12月期、経営目標の達成年度を2018年12月期
とし、併せて「CS VISION- I」の数値目標の修正を行いました。



➤ 選択と集中

- 当社の強みが活きる成長分野・製品への資源の重点配分

➤ 事業領域の拡大

- 地域～中国・東南アジアを中心とした成長市場への業務展開の加速
- 業務分野～エレクトロニクス関連材料、再生可能な環境材料に重点を置いた新規業務分野の開発・事業化

➤ 外部資源の活用

- 強みを補完する提携、事業領域の拡大を加速する企業買収の推進

➤ 筋肉質の企業体質へ

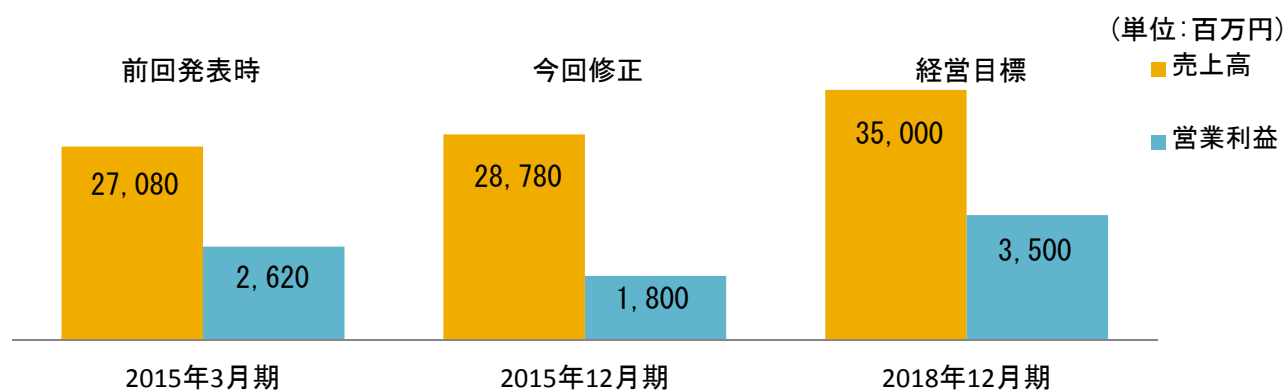
- 選択と集中、新たな業務分野への進出に伴う生産体制の統合・再編等を通じた柔軟で筋肉質の企業体質への変換
- グローバル環境下での人材基盤強化に資する人事施策の推進

V. 経営戦略 (2) 数値目標



➤ 成長市場への進出・新規分野開拓を中期的成長のドライバーに

	CS VISION- I				経営目標 (設立50周年)	
	前回発表		今回修正		2018年12月期	
	2015年3月期		2015年12月期		百万円	構成比
	百万円	構成比	百万円	構成比		
売上高(百万円)	27,080	100.0%	28,780	100.0%	35,000	100.0%
既存事業	22,882	84.5%	21,363	74.2%	24,500	70.0%
海外事業	3,080	11.4%	3,113	10.8%	7,000	20.0%
新規事業	1,118	4.1%	4,304	15.0%	3,500	10.0%
伸長事業計	4,198	15.5%	7,417	25.8%	10,500	30.0%
営業利益(百万円)	2,620		1,800		3,500	
営業利益率	9.7%		6.3%		10.0%	





- 成熟した国内市場において、顧客のニーズを的確に捉えるソリューションの提供を軸に事業基盤を強化し、培った技術を持って海外展開を加速
 - 操業性向上、品質安定化、省資源に向けたソリューション提供
 - ✓板紙アルカリ抄紙システムの推進
 - ✓紙、板紙の軽量化、高灰分化に適合したシステムの開発
 - ✓紙力剤、サイズ剤等各種の基盤となる薬品の高性能化
 - ✓ロジンサイズ剤からASAサイジングシステムへの置換
 - 中国での拡販、東南アジア(タイ、ベトナム等)での市場開拓



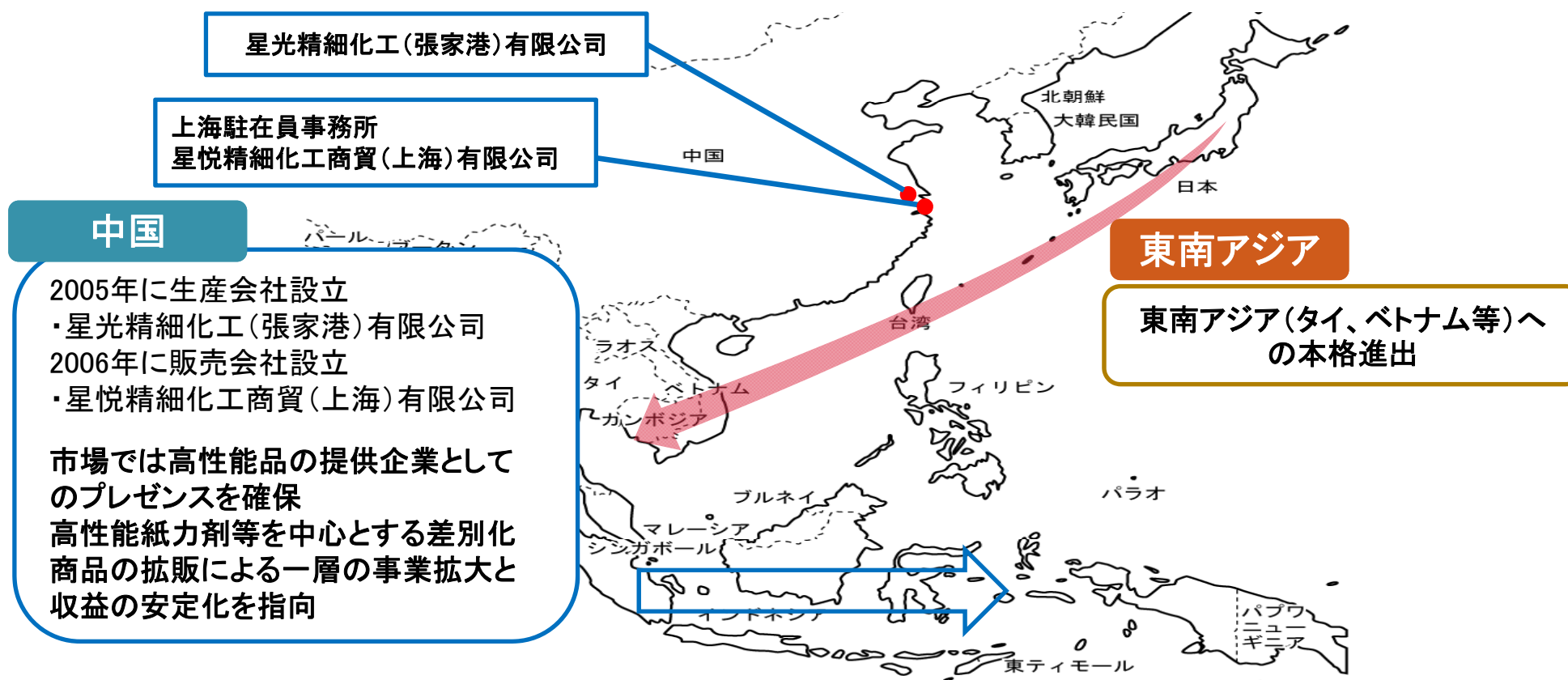
- 水性化、VOC低減に資する環境に優しい高付加価値製品の投入等による製品ポートフォリオの組替え
 - オフセットインキ用樹脂
 - ✓ユーザーニーズに即した環境対応・高性能製品の開発
 - グラビア・フレキシインキ用樹脂
 - ✓水性グラビア・フレキシインキ用樹脂の国内外への拡販
 - 記録材料用樹脂
 - ✓各種トナーの高性能化に寄与する部材の開発、拡販
 - 樹脂技術の応用展開
 - ✓シーラー用エマルジョン、耐油コート剤用エマルジョン等の拡販

V. 経営戦略 (5) 事業領域の拡大-海外展開の加速



➤ 既存事業の地域的な拡大

- 成長著しい中国・東南アジア市場での展開
 - ✓ 既に製紙用薬品・樹脂市場が形成されている中国における高性能、差別化商品の拡販
 - ✓ 今後、市場の形成が見込まれる東南アジア地域へのアプローチ
(日系顧客の進出、現地企業の製造処方の高度化)



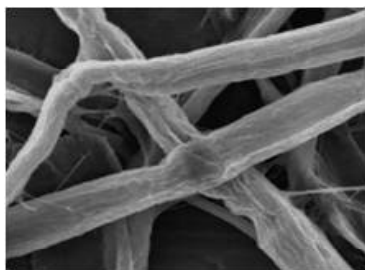
V. 経営戦略 (6) 事業領域の拡大-新規事業



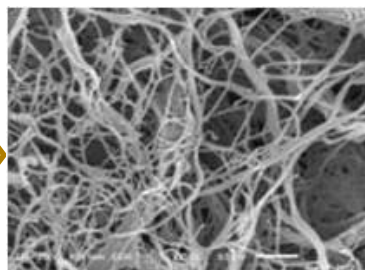
➤ セルロースナノファイバー(CNF)

再生可能資源、環境材料

NEDO・グリーンサステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発
～セルロースナノファイバー強化による自動車用高機能化グリーン部材の研究開発～



木材繊維(パルプ)
繊維径: 数十 μm



CNF
繊維径: 数十 nm



・自動車用樹脂の強度・寸法安定性向上、
金属部材の置換



軽量化
→ 燃費向上

・家電、モバイル機器等の軽量化(部材薄肉化)

【セルロースナノファイバーの特徴】

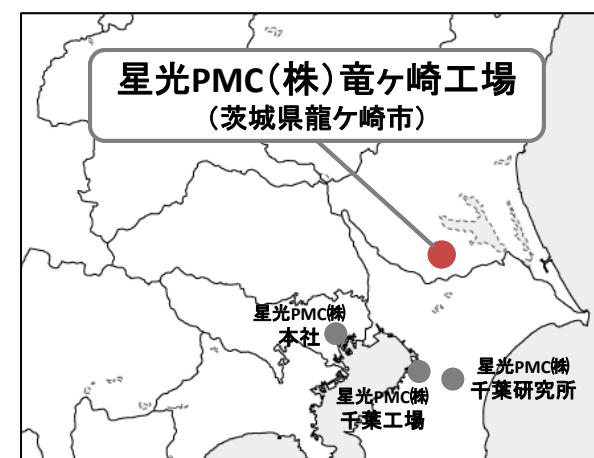
- ・地球上で最も豊富に存在する有機物
- ・ナノサイズの直径
- ・鋼鉄の1/5の軽さ、5倍の強度
- ・ガラスの1/50の低熱膨張性

経済産業省イノベーション拠点立地推進事業
「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に応募、
昨年.2月に採択される。

補助金を活用し当社竜ヶ崎工場にパイロットプラントを設置

2014年度よりサンプル供給開始予定

早期事業化を目指す

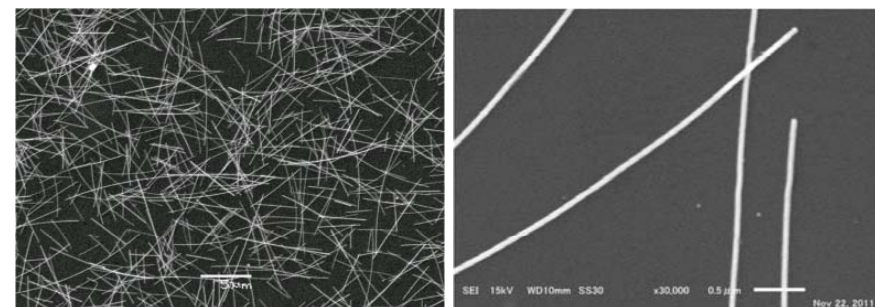


➤ 導電性ナノ材料(銀ナノワイヤ)

導電性材料

銀ナノワイヤ(AgNW)

nmサイズの直径、 μm サイズの長軸長



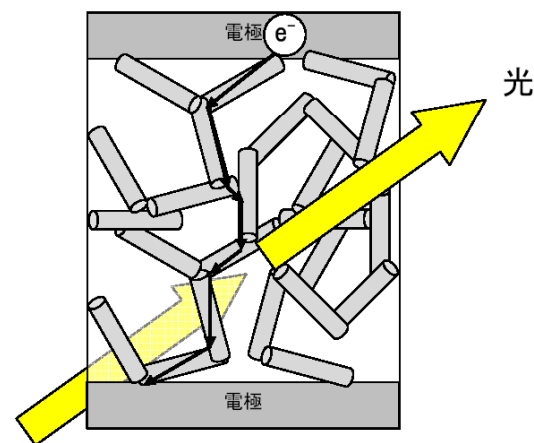
銀ナノワイヤ

銀由来の性質

- ・導電性 導電膜への適用(タッチパネル用部材等)
- ・柔軟性 フレキシブルディスプレイへの応用

ナノワイヤ由来の性質

- ・塗膜透明性 ワイヤ間の広い隙間を光が透過(ディスプレイの視認性良好)



銀ナノワイヤ透明導電膜の原理



タッチパネル

V. 経営戦略 (7) 事業領域の拡大- 事業買収



- **興人フィルム&ケミカルズ(株) 化成品事業の買収合意**
 - 2013年11月29日 株式譲渡契約調印、2014年4月1日 クロージング（予定）

- **買収事業の概要**
 - 新社名 KJケミカルズ株式会社（当社が株式の90%を保有）
 - 所在 本社 東京都中央区 工場/研究所 熊本県八代市
 - 事業内容 独自の合成技術を活かした様々な機能性モノマーの開発・製造・販売
 - ✓ 製品の主たる用途分野：木工用UVコート剤、水系塗料、製紙用薬品、粘・接着剤、UVインキ、化粧品、電子材料、等
 - 事業規模 売上高 約30億円(H25年3月期)
総資産 約36億円/純資産 約23億円(H25年3月末)
従業員 約80名

- **買収の目的**
 - 製紙用薬品事業、樹脂事業に続く第3の事業軸の取得
 - 当社のポリマー合成技術と、買収事業の機能性モノマー開発技術との融合による新たな用途・製品の開発



ご清聴ありがとうございました



星光PMC株式会社

～ **会社も生き生き、社会も生き生き** ～